

日南小学校 5 年生の森林学習授業の様子を取材しました

平成 27 年 10 月 22 日と 29 日、日南小学校 5 年生の児童 26 人と引率の先生方が、「自分たちの地域にある森林を調べたり、体験活動をしたりすることで、森林と生活とのかかわりや環境保全への関心を高める」ことを目的とした森林学習の授業を行い、町内各所を見学しました。

22 日は日南町新屋地区の日南環境林にて、林業研修生の指導をされている(一財)エナジーにちなんの坪倉指導員から講義を受けました。「森林の働きと、天然林と人工林の違いについて」お話を聞いた後、出立山に場所を移して「木を育てる作業」についてお話を伺いました。

午後からは日南環境林近辺の森林作業の現場に移り、日南町森林組合の方から高性能林業機械の説明や森林作業についてのお話を聞きました。高性能林業機械にて行われている、現在の森林作業の様子を見学し、子供達による操縦体験も行われました。ハーベスタ、グラップル、フォワーダーなどが実際に活躍する様子に、興味津々の様子でした。

29 日は日南小学校にて林業研修生を講師として、山で仕事をするうえで気を付けていることや、林業の仕事の楽しさなどについて講義がありました。木材団地にある㈱オロチで LVL(単板積層材)の工場を見学の際は、製品の製造過程の他にも、町産の間伐材を活用して製品を作ることで森林の整備が進み、山が良くなっている事についても説明を受けました。その後、出立山の植林地にて、森林作業体験としてつる切りの実習を行い、小学校にて環境を守る為に、地域の住民が何を考え、どうすべきなのかという事について話し合いが行われました。

参加した子供たちの感想には、「林業について初めて聞くことばかりで面白かった」「木材団地や、林業の作業の様子などは初めて見た」など、日南町と林業が密接に関連していることについて発見があったようです。引率の先生からは、この子供達の中から、将来町内で林業に従事する人材が出てくる事を望んでいる、今回様々な事を教えてくれた方のように、町の産業を支える大人になって欲しいという話も伺いました。

子供たちが誇れるような日南の林業があります。これを支えてくれている関係者の方の日頃の努力にも有難い思いでいっぱいです。

今回、取材に協力頂きました、日南小学校の皆様、森林林業関係者の皆様、どうもありがとうございました。

